

知って 感じて 考える 国際協力の現場



「ここには病院がない。でも、健康に暮らしたい」

そう願う人々と手を取り合って、私たちシェアは、住民が主役の健康づくりを30年間続けてきました。大切にしてきたのは、ともに考え、ともに行動すること。だからこそ、このスタディツアーには、より深い体験、忘れられない出会いがあります。この夏、実り豊かな旅があなたを待っています。

おすすめポイント 1

スタディツアー20年の実績！

これまでの経験から、人々の暮らしや現場の活動をより深く体験し、参加できるプログラムを作り上げています。



East Timor

おすすめポイント 3

30年間、地域に根差した活動をしている保健NGOです！

「住民が主体となって健康を守る」とは？人々とともに歩んできた取り組みを見に来てください。

おすすめポイント 2

現地事情に詳しい日本人スタッフが案内します！

国際協力をめざす方や学生のみなさんが仕事や働き方を実感できます。看護師が同行しますので健康管理も安心です。



Cambodia



Thailand

✦ タイ

8月16日(土)～24日(日) (7泊9日)

村でのホームステイ だからこそわかる エイズの現状

✦ カンボジア

8月24日(日)～31日(日) (6泊8日)

村を歩いてわかる 子どもを健康に育てる秘訣

✦ 東ティモール

8月31日(日)～9月7日(日) (6泊8日)

アジアで一番新しい国で 小学生と一緒に学ぶ保健体育

※詳しくは中面をご覧ください。

お問合せ先 (特活)シェア=国際保健協力市民の会

〒110-0015東京都台東区東上野1-20-6 丸幸ビル5F

TEL 03-5807-7581 /FAX 03-3837-2151

MAIL: info@share.or.jp URL: http://share.or.jp/

お申込み方法 <http://urx.nu/7UxY>

上記所定フォーム、またはお電話やメールで東京事務局まで申込用紙をご請求ください。

村でのホームステイ だからこそわかる エイズの現状

旅行日程

2014年8月16日(土)～8月24日(日) 7泊9日

参加費用
18万9千円

参加費に含まれるもの： 往復航空券(羽田発着/日本航空利用)、羽田空港施設使用料、現地空港税、航空保険料、現地交通費、食費(朝7回、昼6回、夕7回)、宿泊費(1室2名様利用)、活動協力費



※シェア会員ではない方は別途会費が必要です (一般会員1万円、学生会員5千円)

※燃油特別税(26,000円 2014年4月24日現在)、海外旅行傷害保険代は含まれません。

行程

月日	スケジュール(予定)
8/16(土)	午前：羽田空港集合・出発→バンコク経由→タイ東北部ウボンラーチャターニー県へ→ タイ・ラオス国境地域の活動地、ケマラートへ移動
8/17(日)	終日：オリエンテーション、活動地ケマラートの町やメコン川の観光
8/18(月)～8/21(木)	ケマラート郡病院内のHIV陽性者自助グループの活動参加、カラオケ・バーで働くセックスワーカー対象のHIV予防啓発活動の見学、MSM(男性同性愛者)グループの活動見学、学校訪問、村人との文化交流や生活体験など
8/22(金)	ツアーのまとめ、ウボンラーチャターニー市内へ移動、観光
8/23(土)	午前：ウボンラーチャターニー発→バンコクへ バンコク市内自由行動、バンコク発(夜)→羽田空港へ(早朝)
8/24(日)	羽田空港到着

※宿泊：活動地ケマラート(ゲストハウス)2泊、ホームステイ4泊、ウボンラーチャターニー市内ホテル1泊、機内1泊

※日程、活動、交通機関、宿泊先、時刻などは現地事情等により変更される事があります。

申込み締切

2014年7月4日(金) 必着

参加者の声

◆私にとってスタディーツアーが初めての海外でした。行く前は、タイでの生活や言葉がわからないことなど不安いっぱいでしたが、帰国した今は行ってよかったと思っています。スタディーツアーで出会ったすべての人と経験は私にとって大切な宝物になりました。

◆仲間の心の痛みを個別の家庭訪問で支援しているHIV陽性者グループリーダーや、地域の保健活動に従事して命と向き合っているヘルスセンターのボランティアスタッフ、そして目に見えない感染症の恐怖に寄り添いながら正攻法で立ち向かう現地スタッフの真摯な姿勢から、地味な活動のなかに確固たる信念を感じました。

◆シェアの保健活動が受け入れられている背景として、活動対象者や村の人々とシェアの間に、築き上げられてきた信頼関係があること、活動対象者が主体的に活動をおこなうという側面的な支援が大切だということ強く感じました。



村を歩いてわかる 子どもを健康に育てる秘訣

旅行日程

2014年8月24日(日)～8月31日(日) 6泊8日

参加費用

18万円

参加費に含まれるもの： 往復航空券(成田発着／大韓航空利用)、成田空港施設使用料、現地空港税、航空保険料、現地交通費、食費(朝6回、昼6回、夕6回)、宿泊費(1室2名様利用)、観光入場料、活動協力費

※シェア会員ではない方は別途会費が必要です (一般会員1万円、学生会員5千円)

※燃油特別税 (26,000円 2014年4月24日現在)、海外旅行傷害保険代、査証代は含まれません。



行程

月日	スケジュール(予定)
8/24 (日)	午前：成田空港集合・出発→ソウル経由→プノンペン 夕方：首都プノンペン到着後オリエンテーション
8/25 (月)	終日：プノンペン観光(トゥールスレン虐殺博物館、王宮他)
8/26 (火)	午前：プノンペン視察(国立母子保健センター、他NGO活動地他) 午後：プノンペン→プレイベン(シェアの活動地)へ移動
8/27 (水) ～8/29 (金)	カンボジア語講座、村歩き、母子保健プロジェクト見学(健診活動、離乳食教室等)、農村部の病院や保健センターの見学、保健スタッフとの交流、村人との交流他
8/30 (土)	午前：プレイベン(シェアの活動地)→プノンペンへ移動 午後：買い物他/夕方又は夜プノンペン発→ソウル経由→成田へ
8/31 (日)	成田空港到着(朝)

※宿泊：プノンペン(コンフォートスターホテル)2泊、活動地プレイベン(ゲストハウス)4泊、機中1泊

※日程、活動、交通機関、宿泊先、時刻などは現地事情等により変更される事があります。

申込み締切

2014年7月11日(金) 必着

参加者の声

◆村でのフィールドワークを通して、リアルな村の人々の暮らしを感じることができました。

◆印象に残っているのは、保健指導や体重測定記録をシェアのスタッフとともに一生懸命に行う村の保健ボランティアさんの姿です。「村の子どもたちの健康のために自分ができることをしたいという」保健ボランティアさんの言葉をきいて、このような村人の強い思いを育てることが現地に根差した支援の在り方として大切なのだということに気がきました。

◆カンボジアの歴史や文化・生活を間近で感じながら、様々な人に出逢い、多くの刺激を受けました。村の方々との交流、参加者同士で語った夢や、一緒に経験した事、現地で働く人の多彩な経験談は、私の宝物となり一生ものの貴重な経験となりました。



アジアで一番新しい国で 小学生と一緒に学ぶ保健体育

旅行日程

2014年8月31日(日)～9月7日(日) 6泊8日

旅行代金

25万円8千円

旅行代金に含まれるもの：往復航空券(成田発着/ガルーダ航空、スリウィジャヤ航空利用)、空港利用税、航空保険料、現地交通費、食費(朝7回、昼7回、夕6回)、宿泊費、観光入場料、活動協力費



※シェア会員ではない方は別途会費が必要です。(一般会員1万円、学生会員5千円)

※燃油特別税(29,000円 2014年1月21日現在)、海外旅行傷害保険代、査証代は含まれません。

※添乗員：同行しません。(シェアのスタッフが成田出発から成田到着まで同行します。)

行程

月日	スケジュール(予定)
8/31(日)	午前：成田空港集合・出発 夕方：バリ到着後、夕食兼交流会
9/1(月)	午前：バリ出発→東ティモール(首都ディリ) 午後：ディリ到着後、ディリ市内観光(歴史博物館など)
9/2(火) ～9/4(木)	午前：ディリ→エルメラ(活動地)へ移動、オリエンテーション、学校保健活動の見学・子どもたちとの交流、村訪問、保健医療施設の見学他
9/5(金)	午前：エルメラ(活動地)→ディリへ移動、省庁訪問、国立病院訪問等 午後：市内観光、買い物、自由行動など
9/6(土)	午前：ツアー振り返り 午後：ディリ出発→バリ、観光等
9/7(日)	夜中：バリ出発→成田空港到着(早朝)

※宿泊：バリ(Harris Hotel Tuban Bali または同等クラスのホテル)1泊、

ディリ県(Dili Hotelまたは同等クラスのホテル)2泊、エルメラ県(Hotel Bugasaまたは同等クラスのホテル)3泊、機中1泊

※日程、活動、交通機関、宿泊先、時刻などは現地事情等により変更される事があります。

申込み締切

2014年7月18日(金) **必着**

おすすめポイント

◆9年ぶりのスタディーツアーです。

政情が安定し、電気や通信網などが整いつつある今、安心してご参加いただけます。

◆まだ日本語のガイドブックがない国です。

青く澄んだ海や、コーヒーの森が広がる魅惑のティモール島。観光では行けない農村を、現地語が堪能な日本人スタッフと訪れます。

◆若い命にあふれる国です。

110万人の人口の約半数が、15歳以下。たくさん子どもたちの笑顔があなたを待っています。

◆新しい国で取り組んでいる、学校保健活動です。

全国でも先駆的に、行政や教師と学校保健を行っています。日本のような、保健委員会の子どもたちによる活動も活発です。

